

## 第8条（会員の義務）

会員は本会の運営に協力し、世帯単位で会費を納めなければならない。  
会費は正会員月額400円、準会員月額200円とし、原則半年単位に徴収される。

## 1. 背景 ほたる会収支実績推移

## 収入

単位 千円

		2009年 度実績	2010年 度実績	2011年 度実績	2012年 度実績	2013年 度実績	平均値	
町内会費	正会員	502	522	559	581	580	549	
	準会員	343	351	271	380	365	342	
各種補助金		516	483	439	564	659	532	うち敬老会戻入20
雑収入(夏祭り売上等)		147	108	20	73	54	80	戻入
収入合計(あ)		1,509	1,464	1,288	1,598	1,658	1,503	

## 支出

町内行事費		368	313	200	252	171	261	夏祭り経費込み	自由 度 あり 410
運営費		52	16	14	14	23	24		
消耗品費		16	21		19	11	17		
慶弔金		20	20	20	0	5	13		
雑費		5	22	30	7	5	14		
防災関連費	防災訓練	58	119	75	73	84	82		断続 的
	水質検査				43	43	43		
	防災器具関連	0	125	511	251	0	177	10,11消火器(5.5/ 正会員) 12発電 機200	
防犯灯電気料金		322	344	391	438	523	404	74基	固定 的
防犯灯修繕費		46	121	10	65	42	57		
会費(連協・社福・スポ)		148	150	157	167	172	159	世帯数比例	
自治会活動保険				34	48	51	44	世帯数比例	
寄付金(赤十字など)		56	56	46	58	59	55	世帯数比例	
支出合計(い)		1,093	1,307	1,490	1,437	1,190	1,303		

過不足	あ-い	416	157	-202	161	468	200	
	支出から 防災器 具購入を 除く	416	282	309	412	468	377	
残高(各年度末)		4,434	4,617	4,413	4,574	5,042		

## &lt;収支の現状&gt;

1. 繰越額が500万円を超えている
2. 過去4回黒字で繰越している(過去5年平均20万円) 2011年度は消火器更新による赤字
3. 防災器具の大物投資がなければ5年連続平均37万円ずつ繰越している
4. 町内行事内容は5年間だいたい同じ

会費の減額が必要と考えられる

## 2. 一世帯当たりの負担すべき金額の試算

292世帯ベース

66000 ÷ 292 = 226

	千円/年	
防犯灯電気料金	55	550千円 × 自己負担0.1 値上げ考慮
防犯灯修繕費	11	57千円 × 自己負担0.2 過去実績ベース
諸会費(連協/スポ振/社福)	175	200円 × 3団体 × 世帯数
自治会活動保険	51	156円 × 世帯数 + 8560円
寄付金(赤十字など)	29	100円 × 世帯数 と仮定
防災関連費 水質検査	49	(8000円 × 5カ所 + 5000) * 税
活動費	330	過去5年実績ベース (= 410 - 80 - 20)
<b>計</b>	<b>700</b>	

固定的部分  
370千円 ÷ 292世帯  
= 1267円

一世帯当たりの負担すべき金額 2397円 700,000 ÷ 292

### 活動費予算一例

夏清掃	10	ラジオ体操	10
夏祭り損失補てん	20	市民体育祭	30
敬老会	50	ソフト大会	30
冬清掃もち	90	防犯パト	20
運営経費	70	計	330

現時点の固定的な支出と、過去5年並みの定例行事を執行するには、会費は正会員、準会員問わず2400円/年でも単年収支は均衡する。

実際には、さらに市役所から回覧板回覧への報酬として約11万円/年が用途自由で与えられるため、資金余力はある。

(絶対的に必要なのは防犯灯の電気代、修繕費、ゴミステーション備品等わずかであり、物価上昇等の際にも予算項目見直しにより対応可能であると考えられる)

## 3. 会費見直しと、2015年度以降の予算編成の方向性

- 現時点の固定的な支出と、過去5年並みの定例行事は、対象を正会員、準会員問わず平等に行っている。最低限必要な費用としては、上述の通り2400円/年程度である。
- しかし正会員は、輪番で無報酬で役員に就任せねばならず、その労務費用は約418千円/年に相当する。(3頁参照) 418千円/年 ÷ 109世帯 = 3839円/年 上乗せで会費を支払っていることと同義である。
- 現状の正会員会費は4800円/年であり、(4800-2400) × 109世帯 = 261千円/年程度収入が多いことになる。このため、毎年黒字が積み立てられていくことになる。これは正会員限定サービスのための積立金とも考えられる。過去に消火器配布、回収(約6000円/世帯)されており、このような防災用途で定期的に還元(圧縮)されていくのが合理的と考えられる。(各正会員世帯に現金還元するのは配分等の調整が発生し現実的には困難)
- ただし現在繰越金が500万円あり、足元想定される下記大物投資を考えても十分すぎる残高である。  
消火器劣化更新 6000円 × 109世帯 ÷ 6年 = 11万円/年  
発電機劣化更新 15万円 ÷ 10年 = 1.5万円/年  
防災倉庫劣化更新 25万円(推定) ÷ あと10年? = 2.5万円/年

結論 2015年度以降 会費はすべて200円/月とする。

### 参考. 正会員役員の労務費試算

準会員は役員免除のため、下記負担なし

代表的な例を挙げているので、これ以外にも作業は存在すると考えられる

企画立案・調整、資料作成などは含まず

		拘束時間 (h/回)	頻度(回/ 年)	人数 (人)	時給(円/ h・人)	コスト(円 /年)
会長	連協会長会出席	2	10	1	800	16,000
	ほたる会役員会出席	2	10	1	800	16,000
	ほたる会総会出席	2	1	1	800	1,600
	おゆみ野連協総会出席	2	1	1	800	1,600
	区連協総会出席	2	1	1	800	1,600
	スポーツ振興総会出席	2	1	1	800	1,600
	社会福祉協議会総会出席	2	1	1	800	1,600
	防犯灯補助金/ごみ袋申請	1	1	1	800	800
	水質検査現場立会	1	1	1	800	800
	夏祭り出店会議	1	1	1	800	800
	夏祭り協賛金集金	2	1	1	800	1,600
	夏祭り協賛金集金 お礼廻り	1	2	1	800	1,600
	役員	ほたる会役員会出席	2	10	9	800
ほたる会総会出席		2	1	9	800	14,400
避難所運営委員会出席		2	6	2	800	19,200
議事録作成		1	11	1	800	8,800
会費徴収		5	2	5	800	40,000
法人会費徴収・各種振込		1	1	1	800	800
回覧版作成/回収		1	10	5	800	40,000
ラジオ体操会議・役所申請		1	1	1	800	800
ラジオ体操見守り		0.5	10	3	800	12,000
防災訓練 夏		2	1	10	800	16,000
夏祭り運営会議		2	3	2	800	9,600
市 避難所訓練		1	1	6	800	4,800
敬老行事		4	1	2	800	6,400
市民体育祭打ち合わせ		2	2	2	800	6,400
ソフト大会打ち合わせ		2	1	1	800	1,600
防災訓練 冬		6	1	10	800	48,000
合計						418,400

1世帯当たり負担→ 3,839 円/年

延時間 523 h/年